



CALENDAR
2024.4-2025.3



ご案内

- 開館 9:30-17:00 (入場は16:30まで)
- 休館 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、展示替え等の期間
- 交通 JR和歌山駅または南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
- 駐車場 2時間まで無料(要入館手続き)、以後30分ごとに100円
- 観覧料 高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料、紀陽文化財団の日(毎月第4土曜日)は大学生無料

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14
tel.073-436-8690 fax.073-436-1337
www.momaw.jp

表紙：恩地孝四郎《望と怖》1914 当館蔵

● 休館日

Year	Month	Sat	Fri	Thu	Wed	Tue	Mon	Sun	
2024	4	6	5	4	3	2	1	30	
	5	4	3	2	1	30	29	28	
	6	1	2	3	4	5	6	7	
	7	1	2	3	4	5	6	7	
	8	3	2	1	30	29	28	27	
	9	4	3	2	1	30	29	28	
	10	5	4	3	2	1	30	29	
	11	2	1	30	29	28	27	26	
	12	2	1	30	29	28	27	26	
	2025	1	7	6	5	4	3	2	1
		2	8	7	6	5	4	3	2
		3	1	2	3	4	5	6	7
4		2	1	30	29	28	27	26	
5		3	2	1	30	29	28	27	
6		4	3	2	1	30	29	28	
7		5	4	3	2	1	30	29	
8		6	5	4	3	2	1	30	
9		7	6	5	4	3	2	1	
10		8	7	6	5	4	3	2	
11		9	8	7	6	5	4	3	
12		10	9	8	7	6	5	4	

※2024年12月23日より改修工事のため休館

4.27(土)–6.30(回)

土が開いた現代 革新するやきもの



20世紀後半の京都を中心に試みられた陶による多彩な表現は、現代日本の美術に大きな一角を占めています。当館コレクションから陶による造形の広がりをご紹介します。

林康夫
《人体》
1950 当館蔵

4.27(土)–6.23(回)

コレクション展 2024-春

特集 小さくていいもの、あり



若山八十氏『変ないきもの』
1961 当館蔵

7.13(土)–9.23(月・祝)

なつやすみの美術館14 河野愛「こともの、と」



河野愛《I》2021 作家蔵
Photo: 堀井ヒロツグ

河野愛《こともの foreign object》2021 作家蔵 Photo: 増田好郎

あらゆる世代に美術館の楽しみ方を伝える展覧会の14回目は、美術作家の河野愛(かわの あい)をゲスト迎えます。近年のシリーズ「こともの」を起点に、当館コレクションと組み合わせ、さまざまな「こともの／異物／異者」を考えます。

7.2(火)–9.23(月・祝)

コレクション展 2024-夏

特集 旅する美術



川端龍子《芭蕉翁》
1923 当館蔵

10.5(土)–11.24(回)

月映 つきてるつちに つどいたるもの

1914年9月、3人の美術学生、田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎によって刊行された木版画と詩の作品集『月映(つくはえ)』。心の内面を見つめ、しずかに映し出すように生み出された珠玉の作品を、刊行から110年となるのを記念して一堂に展示します。



藤森静雄《あゆめるもの》
1914 当館蔵



田中恭吉《五月の呪》
1914 当館蔵

10.5(土)–11.24(回)

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展

仙境 南画の聖地、ここにあり

近代南画の展開と和歌山の風景表現に焦点をあてる展覧会を、田辺市立美術館と共同で同時開催します。しばしば中国古典に登場する「仙境」と重ねられ、江戸時代から文人たちの絵画や詩の主題となってきた和歌山の豊かな自然を見つめ直すとともに、それらに通じる清らかな南画の世界観をご覧ください。



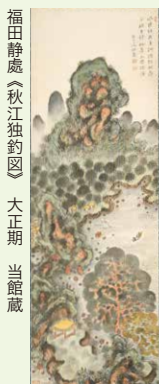
桑山玉洲《玉津島輿崖図》
江戸時代後期 田辺市立美術館蔵

10.5(土)–12.22(回)

コレクション名品選



浜地清松《厨房》
1928 当館蔵



福田静處《秋江独釣図》
大正期 当館蔵



矢野橋村《盪壑図》
1930頃 当館蔵

第78回和歌山県美術展覧会(県展)

2024.12.11(火)–12.15(日)

第10回和歌山県ジュニア美術展覧会
(ジュニア県展)

2024.12.18(火)–12.22(土)